

授業 科目名	【G】	言語圏文化論(中)	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	言語圏文化論(中)			【H】1		【H】2	
	【I】	言語圏文化論(中)	その他参照		【I】1		【I】2	
科目区分	基本科目							
授業形態	オンライン開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	映像で見る中国の過去と現在				担当者	小路口 ゆみ		
授業概要	【概要】	中国の過去と現在を映画やドキュメンタリーの映像を通じて学ぶ。映像を鑑賞した後、授業の内容に関して分析を行う。						
	【到達目標】	中国の文化・歴史・政治などの理解を深めることができる。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連	特になし。							
教科書	特になし。							
参考書	授業中に、資料を配付する。							
評価方法	1、平常点(受講意欲、参加態度 30%) <input checked="" type="checkbox"/> 授業後課題(20%) 3、期末課題(50%)							
フィードバック 方法	教員が授業後課題や期末課題を解説する。							
評価基準	総合点が80点以上(80点を含める)の者には「A」(うち特に優れたものには「S」)を与え、70~79点の者に「B」を与え、60~69点の者には「C」を与える。60点以下の者には「D」または「E」、評価不能の場合は「F」を与える。							

授業 科目名	【G】	言語圏文化論（中）	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	言語圏文化論（中）	その他参照		【H】1		【H】2
科目名	【I】	言語圏文化論（中）			【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス(必ず出席すること)・中国概況 予習: 中国の概況(人口、面積、行政区画など)について調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
2	中国の自然 予習: 中国を象徴する山・川を調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
3	中国語の歴史(一) 映画①『孔子の教え』をみる 予習: 孔子について調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
4	中国の歴史(二) 孔子について 予習: 孔子の思想をまとめておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
5	中国の歴史(三) 諸子百家 予習: 諸子百家について調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
6	中国の歴史(四) 映画②を見る秦 予習: 始皇帝について調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
7	中国の歴史(五) 秦の統一 予習: 始皇帝についてまとめておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
8	中国の歴史(六) 漢武帝 予習: 漢武帝について調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
9	中国の文学 映画③をみる中国の四大名著 予習: 四大名著について調べる 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
10	中国の文学 中国の四大名著 予習: 四大名著についてまとめておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
11	中国の年中行事 予習: 日中共通する年中行事とは 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
12	中国の衣食住行 予習: 中華の四大料理について調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
13	中国のお茶 予習: 中国のお茶の種類について調べておく 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
14	総括と学習到達度確認課題 予習: 第1回目～13回目の内容のまとめ 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
15	学習到達度確認課題の解説 予習: 第1回目～13回目の内容のまとめ 復習: 講義内容ノート等の振り返り						
その他	① 無断欠席6回以上で単位放棄とみなす。② 授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安としてください。③ 履修者の理解度などを参考しながら、授業内容や割当回数を変更・調整する場合があります。 ※G・H・I:【選択必修(カ)】						